

# 会 議 報 告 書

<b>会議名</b>	平成 29 年度第 4 回 三郷市地域包括支援センター運営協議会		
<b>日 時</b>	平成 30 年 3 月 26 日 (月) 午後 1 時 30 分～2 時 50 分	<b>場 所</b>	市役所本庁舎 6 階 第三委員会室
<b>次 第</b>	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度ふくし総合支援課地域包括係予算について【資料 1】</li> <li>・三郷市地域包括支援センター実地検査の報告について【資料 2-1】【資料 2-2】【資料 2-3】</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">(2) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷市地域包括支援センター職員等の変更について【資料 3-1】【資料 3-2】</li> <li>・平成 30 年度三郷市地域包括支援センター業務委託内容(案)について【資料 4-1】【資料 4-2】【参考資料 1】</li> </ul> <p>3. その他(連絡事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 7 期三郷市高齢者保健福祉計画(素案)に対するパブリック・コメントの意見の回答について【資料 5】</li> </ul> <p>4. 閉会</p>		
<b>出席者</b>	<p>【会 長】 谷口 聡</p> <p>【副会長】 種市ひろみ</p> <p>【委 員】 海老原英之、岡田育代、二瓶嘉之、松本博子、水口理恵、八塚俊雄</p> <p>【事務局】 増田道夫(福祉部長)、森泰子(福祉部副部長兼ふくし総合支援課長兼ふくし総合相談室長)、峰川修一(長寿いきがい課長)、吉井馨(長寿いきがい課長補佐兼介護認定係長)、長濱崇二(長寿いきがい課長補佐兼介護給付係長)、高橋一徳(長寿いきがい課長寿いきがい係長)、谷口寿美枝(ふくし総合支援課ふくし総合相談室地域包括係長)、元井隆幸(同 主査)、八巻 絢子(同 主査)</p> <p>【傍聴人】 0 人</p>		

## ●審議事項における確認事項

<b>議事</b>	<p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷市地域包括支援センター職員の変更等について・・・・・・・・・・・・・・・・承認</li> <li>・平成 30 年度三郷市地域包括支援センター業務委託内容(案)・・・・・・・・一部変更の上承認</li> </ul> <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度ふくし総合支援課地域包括係予算について・・・・・・・・承認</li> <li>・三郷市地域包括支援センター実地検査の報告について・・・・・・・・承認</li> </ul>
-----------	---

<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7期三郷市高齢者保健福祉計画（素案）に対するパブリック・コメントの意見の回答についての報告</li> </ul>	
<p><b>平成 29 年度第 4 回三郷市地域包括支援センター運営協議会 議事内容</b></p>	
<p>司会 (事務局)</p>	<p>平成 29 年度第 4 回三郷市地域包括支援センター運営協議会を開会する。本日の会議開催につき、三郷市地域包括支援センター運営協議会設置規則（第 6 条）の規定により、半数以上の出席を持って会議を開催とあるが、本日は委員 10 名中 8 名出席のため会議は成立する。以後、机上に配布した次第に沿って進行する。開会に先立ち、会長にごあいさつをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>今回が 29 年度の最後の運営協議会になる。第 7 期三郷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画ができ、4 月から新たな 3 年の計画が始まる。医療と介護双方で保険料改定があり 30 年度は様々な変化の年になる。今回はその直前の運営協議会である。</p> <p>本運営協議会としては、これまで地域包括支援センター職員の欠員の問題が続いており、今回で一つの区切りになる会議になる。各委員は忌憚のないご意見をお願いします。</p>
<p>司会 (事務局)</p>	<p>議事に入る前にお知らせがある。本日の運営協議会開会にあたり、本日の運営協議会の報告事項「地域包括支援センター実地検査の報告」、審議事項「三郷市地域包括支援センター職員の変更等」と「平成 30 年度三郷市地域包括支援センター業務委託内容（案）」について、三郷市情報公開条例 第 7 条（1）および（7）に該当する内容があるため、非公開としたいがよろしいか。</p>
<p>出席委員</p>	<p>（全員賛成）</p>
<p>司会 (事務局)</p>	<p>本日は傍聴人なし。以後の進行を谷口会長にお願いします。</p>
<p><b>(1) 報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度ふくし総合支援課地域包括係予算について【資料 1】</li> </ul>	
<p>会長</p>	<p>次第に沿って議事を進行する。それでは事務局に説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料 1】説明</p>
<p>会長</p>	<p>この件に関して、意見はあるか。</p>
<p>水口委員</p>	<p>認知症初期集中支援チーム事業はどのような実績があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事業が始まってわかったことだが、認知症の人は外部の人間との関わりや治療や受診などに拒否感を持っているかたが多く、チームが 1 ケースにつき何度も訪問を重ねることで信頼関係を築いていき、公的支援に結び付けている事例が多い。</p> <p>これまでの実績は 5 件程度であったが 1 件あたりの訪問回数は多い。今後実数の増加に比例して増えていくと思われる。厚生労働省も認知症の早期発見・早期治療に力を入れているということもあり、市としても認知症に関する事業の予算を拡大し重点項目として進めていく。</p>
<p>水口委員</p>	<p>認知症初期のかたは非常に多いと考えるが、一部の人しか対応できていないの</p>

	<p>ではないか。</p> <p>感覚として 5 件で済むことは無いと思う。事業対象者にチームが派遣される仕組みはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>地域包括支援センターの支援ケースから対象者候補を市に挙げてもらい、事業に該当したケースをチームに依頼している。</p> <p>ただ、地域包括支援センターはこれまでの経験や知識の蓄積があり、地域の関係機関との協力関係もできていることから、この事業を利用することなく関係機関や公的制度に繋がられているケースが多い。</p> <p>地域包括支援センターから挙がってくる対象者候補は、身寄りがおらず本人も受診拒否をしているような支援困難ケースばかりなのが実情である。</p>
水口委員	<p>事業を大きく広げてできないのかと思う。たった 5 人のためにチームが使われるのは効率やコストが悪い。良い方法がないか考えて頂きたい。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
岡田委員	<p>認知症初期集中支援チームの予算は約 400 万円になっている。市民は地域包括支援センターのことは知っていても、認知症初期集中支援事業のことは知らないのではないか。</p> <p>認知症高齢者の家族は悩んでいる。例えば認知症高齢者の自動車免許の問題など。医療機関は家族からの相談を待っているが、家族は本人をどう医療機関に繋がたらよいか、どこに相談したらいいかわかっていない。</p> <p>悩んでいる家族にどのように手を差し伸べたらよいか。地域包括支援センターに相談に行ければよいが、この事業が市民へ周知が十分になされているのか疑問を感じる。認知症初期集中支援チームは市民に浸透させる必要が無いのか、独居高齢者を対象としたチームなのか。この事業の目的がわからない。</p>
事務局	<p>市としても実績が少ない事は認識している。支援困難ケースに偏らないよう、事業につなげやすい仕組み作りは必要であると考えている。</p>
岡田委員	<p>認知症高齢者に往診している医師が、健康診断を名目に本人を説得し、受診に繋がってもらえると家族は助かると思う。</p>
松本委員	<p>認知症の高齢者には病識が無い人が多い。病識が無い人を医療機関の受診に繋げるのは大変困難なことである。</p> <p>受診に繋がるまで地域包括支援センターや民生委員が声掛けなど地道な努力を続けてくれるといいが、家族も親族の認知症に対する病識が無く、外からの支援を拒否することが意外と多くある。</p> <p>家族が抱えきれなくなってから支援機関に相談した時には既に症状がかなり進行していたケースはよくある。また、訪問を繰り返すとかえって拒否が強くなることもある。</p> <p>町会長や近隣住民などからの声かけがあればいいと思うが、私自身も近所であっても話したことが無い人に声をかけるのは躊躇してしまう。難しい問題だ。</p>
会長	<p>これだけの数の事業があるので、各事業を組み合わせる幅広く対象者を拾い上げ、各事業と繋がりを持たせる組織を作ったほうが良いと思う。それぞれの事業の手法でバラバラに行っていると効率が悪いので、市は人と予算を効率よく</p>

	使うための手法を考えてほしい。
事務局	検討する。
水口委員	何度も訪問するのは民生委員が既に行っている、近隣住民も訪問しているという中で、初期集中支援チーム員という近隣住民より本人とのつながりが遠い者が訪問することの意味や効果に疑問を感じた。もともと認知症高齢者との関係づくりは難しいものなので、どういう手法が正解なのか答えが出ない。 ただ、この事業をもっとわかりやすくしてほしいのと、この事業以外のアプローチがあると良い。
八塚委員	認知症初期集中支援チーム員の構成はどうなっているのか。
事務局	認知症またはその疑いがある高齢者に対し、専門の研修を受けた認知症サポート医、医療経験のある看護師、介護経験のあるケアマネジャーの3人がチームとなって、アセスメントや家族支援などの初期の支援を専門職の視点で包括的・集中的に行うことで、自立生活を支援するものである。
八塚委員	自分の担当地区ではないが、別の民生委員の地区で、認知症高齢者が妻に馬乗りになって警察沙汰になった騒ぎがあった。初期段階で見つけるのが一番の難題だと思う。
会長	認知症関連事業以外で、在宅医療介護連携、地域包括支援センター委託料、地域ケア会議に関して質問はあるか。
岡田委員	在宅医療介護連携サポートセンターが始まるという事だが、役割や人員構成等を教えていただきたい。
事務局	医療保険制度と介護保険制度は別々に運営をされている。また、今後75歳以上後期高齢者が増えるに伴い、在宅で医療と介護の両方を必要とする高齢者が増えるという予測がある。それに対し、本来制度の異なる医療と介護を円滑に連携させるためにサポートセンターが窓口となる。 市民だけでなく、地域包括支援センター、ケアマネジャーをはじめとする介護保険事業所や医療機関の関係者に対し、関係者間の連絡調整、在宅医療や介護の情報を提供するなど、医療と介護をつなぐ役割である。 保健センター分室にサポートセンターが設置されている。経験のある看護師が9時から17時まで常駐し対応している。
会長	それ以外は前年と大きな変化はないようだ。それではこの報告事項を終了する。
<p>・三郷市地域包括支援センター実地検査の報告について【資料2-1】【資料2-2】 【資料2-3】</p>	
	<b>非公開事項</b>
会長	それでは審議事項に進む。
<p>(2) 審議</p> <p>・三郷市地域包括支援センター職員等の変更について【資料3-1】【資料3-2】</p>	
	<b>非公開事項</b>
会長	それでは審議事項に進む。

<p>・平成30年度三郷市地域包括支援センター業務委託内容(案)について【資料4-1】【資料4-2】【参考資料1】</p>	
	<p>非公開事項</p>
会長	<p>以上をもち、本日の議事について全て終了した。以後の進行を事務局に戻す。</p>
<p>(3) その他(連絡事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7期三郷市高齢者保健福祉計画(素案)に対するパブリック・コメントの意見の回答について【資料5】</li> </ul>	
事務局	<p>【資料5】説明 委員から意見、質問等はあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見無し)</p>
事務局	<p>次に事務連絡として3点説明させていただく。</p> <p>1点目。地域包括支援センターが担う介護予防ケアマネジメントについて、三郷市から介護保険法に規定する介護予防支援事業者の指定を受け業務している。これまで関係事務は長寿生きがい課が所管していたが、介護予防ケアマネジメントは地域包括支援センターの業務の一部であることから、平成30年度よりふくし総合支援課の業務に移管することとなったので報告する。今後は指定介護予防支援に関係する条例改定等の際は本運営協議会の場で審議をお願いする。</p> <p>2点目。机上配布した平成30年度運営協議会日程(案)について、30年度はこの日程で開催するので出席をお願いしたい。第1回と第2回はこれまでと同様、地域包括支援センター所長も出席する。</p> <p>3点目。平成30年11月13日に本運営協議会委員任期満了による一斉改選を行う予定である。次回30年度第1回の協議会は、改めて通知を発送する。</p>
増田部長	<p>本日はご多用の中、地域包括支援センターに関する予算等について、貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。</p>
司会 (事務局)	<p>以上をもち、本日の次第の予定を全て終了した。</p> <p>なお、配布した資料一覧に回収の記載がある資料は会議終了後回収するので、お持ち帰りの無いようお願いする。最後に閉会の言葉を種市副会長からお願いする。</p>
<p>4. 閉会</p>	
副会長	<p>ご参加いただきありがとうございました。これをもって、平成29年度第4回地域包括支援センター運営協議会を終了する。</p>